

[okazaki_129]

活動タイトル	リモート講義による地球温暖化防止講座
実施日	2021年7月6日
場所	(オンライン開催)
対象数	41人
内容	<p>一昨年までは、小グループを対象とした札幌市環境プラザのハウススタジオの見学と合わせた省エネ講座を行っていましたが、今年は、クラス全員を対象とし、WEB会議システムZOOMを使ったオンライン講座となりました。タイトルは、「身近な生活の科学を学ぶ ～気候変動とわたしたちの暮らし～」としました。</p> <p>講座で伝えた項目は、下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">札幌市環境プラザのハウススタジオの見学で体験できることとして、照明を省エネモードにした場合の消費電力の違いを知らせました。それから、ウォーミングアップとして、ZOOMのリアクションアイコンを使った回答の練習。現在行われている日本版気候若者会議やグレタさん、Fridays For Futureの取組に触れ、その背景にある気候危機の現状について伝えました。熱海で起きたような短時間で大量の雨が降ることが、近年増えていることや、そのような状況に備えておく「適応」の重要性も伝えました。地球温暖化の簡単なおさらいと、2050年に向けた取組みについて、分野によって早く進む部分とそうではない部分があることを伝えました。脱炭素化に向けた自治体や企業の取り組みが増えていることと、それらの果たす意義、これら温室効果ガス排出削減や吸収の取組を「緩和」と呼ぶことを伝えました。身近な取組の例として、電気の省エネのポイント、「設定などの使い方」「使う時間や回数をへらす」「購入の際の選び方」の3点について、ZOOMのリアクションアイコンを使ってのクイズや簡単な消費電力量の計算を交えながら、伝えました。「人がそれほど合理的に行動するわけではない」ということに触れ、近年注目されている「ナッジ」などの行動デザインの事例を紹介しました。 <p>配付資料：PPT資料を学校より各学生に送付</p> <p>(感想・反省点)</p> <ul style="list-style-type: none">なるべく身近なことと感じてもらえるよう、現在起こっていることとの関わりや、最新の情報を取り入れるよう、いろいろ調べたことは、考えの整理や情報のアップデートにつながり、自分にとっても有益だったと思いました。学生さんの環境によっては、共有画面が表示されないなど、トラブルもあり、事前の準備や注意が必要だと思いました。少しでも一方通行ではないものになるように、なるべく、学生さんにも、リアクションしてもらおうなど、工夫しましたが、さらに参加型になるような工夫が必要だと感じました。

- ・ 終了時間が気になり、少し急ぎ足になった結果、かえって早めに終了してしまいました。残った時間で、チャット欄などにコメントを書いてもらえば、学生さんのふりかえりの時間とできたのに、というのも反省点です。

実施写真等

